

農園通信 5月



新年度が始まり、農園も新しい学生を受け入れる準備をしております。

今年は4月から5月にかけて夏を思わせるような気候となる中、畑を耕していると綺麗な声で鳴く鳥がいることに気が付きました。

声の主は「イソヒヨドリ」でした。警戒心が強く



なかなかカメラのシャッターチャンスを与えてくれません。

その代わりにカラスやムクドリ、セキレイなどが耕した畑の害虫(コガネムシ類・ネキリムシなど)を食べている様子が見られ長閑な光景であります。



植物の生育は気候に敏感で梅は昨年よりかなり早く成熟し収穫を迎えておりました。

園内のいちごも早々に収穫終了となりました。

この先ラズベリー、ブルーベリーと収穫できる果実がありますがこれらの収穫も早くなるのでしょうか？

2月頃に種芋を植えたジャガイモに目を向けてみると花の咲いた後にこんな実が付いておりました。何かの実に似ていると思いませんか？

トマトの実にそっくりです。

ジャガイモは「ナス科」の植物でジャガイモ、トマト、ピーマンなどの花は形が似ております。

しかし、ジャガイモの実には「ソラニン」という有毒物質が含まれており食べられないとのこと。



ジャガイモの実

こんな事例も園内にはあります。

左の画像が11月に播種した「サヤエンドウ」、右が雑草の「カラスノエンドウ」です。花の形や色、葉の様子などなんとなく似ていると思いませんか？



サヤエンドウ



カラスノエンドウ

園内では4月下旬には6条大麦の出穂（しゅっすい）している光景が見られました。大麦の若葉から出穂している光景は清々しさを感じることができ、やがて6月には収穫時期を迎え穂の色が黄色くなる麦秋（ばくしゅう）を迎えます。

ちなみに6条大麦は麦茶用の麦であります。

農業体験が始まった5月中旬以降、この時期とは思えない夏日が続き慣れない作業に苦戦する様子が見られました。

「熱中症」には十分気を付けてください。

自然に左右される農業は一筋縄にはいきませんが、その分大きな変化に気づき、喜びも感じられる醍醐味もあります。

